

湯沢砂防事務所と 現場代理人等との意見交換会開催

平成31年1月8日(火)に湯沢砂防事務所職員と湯沢砂防事務所が発注した砂防工事の施工者の皆様と砂防工事を進めるなかで様々な課題がありご苦労されていることについて、現場の生の声をおききすることを目的に意見交換会を開催しました。

2年目となる今回は、各工事現場から現場責任者の現場代理人のほか若手技術者、女性技術者など多くの現場担当者の方々が参加されました。湯沢砂防事務所からは赤沼事務所長ほか契約、用地、設計積算、監督を行っているそれぞれの担当者が出席し、様々な課題について意見交換を行いました。また、今回は、国土交通省砂防部から蒲原土砂災害対策室長、北陸地方整備局から浅井地域河川調整官、さらに砂防施工管理研究会から牧野技術アドバイザーが参加し砂防工事現場の様々な課題について意見交換を行いました。

砂防施工管理研究会とは、
<https://www.sff.or.jp/sekokan/summary/>

会議内容

■話題提供:

「砂防工事における国土交通省の取り組み」

国土交通省砂防部保全課 岩男企画専門官

■意見交換

①ICT土工の取組について

ICT土工を採用して工事を行った(株)森下組:渡辺さん、(株)文明屋:久川さん、(株)種村建設:今井さんが、メリット・デメリットを報告しました。

②週休2日の取組について

管内工事で唯一、週休2日で工事を完工した(株)種村建設:菅家さんが報告しました。

③設計・積算等について

砂防工事が町から離れた山岳地にあるという特殊性からの様々な課題を報告しました。

④監督・検査について

⑤担い手確保・育成について



赤沼事務所長
「砂防工事の現場では様々な課題がある。改善していくよう声をあげることが重要。」

湯沢砂防事務所が発注する工事から16企業、43名が参加しました。



主な意見

- ICT土工は、丁張り設置の負担軽減、土量算出など進捗管理が容易であった。一方、通信環境やデータ処理システム、高額な機械リース代、複雑な地形や岩盤への対応など課題があることも報告された。
- 週休2日を達成するためコンクリートを仮状に打設し、生コン日当たり施工量を増加させる工夫をおこなった。
- 生コン価格について、生コン工場が遠く現場まで距離があり、割増料金がかかり、発注者の算出する価格と差がある。
- 急峻な河川内での工事のため、増水に伴う軽微な清掃や復旧作業も度重なりと費用及び工程に影響がある。



種村建設:菅家さん
「週休2日は現場では好評であった。生コン打設の工夫をおこなった。」